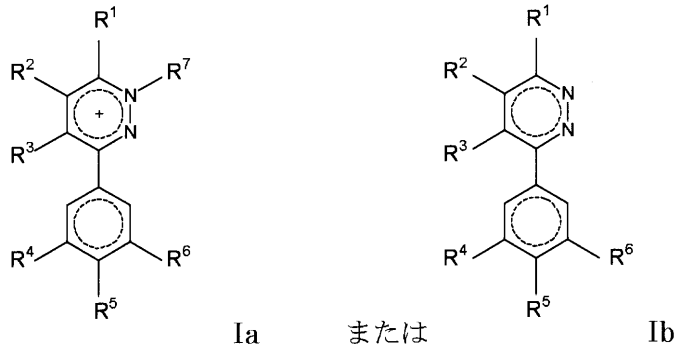
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公表番号】特表2008-518958(P2008-518958A)
【公表日】平成20年6月5日(2008.6.5)
【年通号数】公開・登録公報2008-022
【出願番号】特願2007-539305(P2007-539305)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 237/20　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/506　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 403/12　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 401/14　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 401/04　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/501　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/5377　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/28　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 237/20
Ａ６１Ｋ 31/506
Ｃ０７Ｄ 403/12　ＣＳＰ
Ｃ０７Ｄ 401/14
Ｃ０７Ｄ 401/04
Ａ６１Ｋ 31/501
Ａ６１Ｋ 31/5377
Ａ６１Ｐ 25/28
Ａ６１Ｐ 25/00
Ａ６１Ｐ 29/00
Ａ６１Ｐ 43/00　１１１

【手続補正書】
【提出日】平成20年11月4日(2008.11.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
表１の化合物の除外が条件である、単離されて実質的に純粋な式ＩａまたはＩｂの化合物、またはこれらの異性体もしくは薬剤として許容されるこれらの塩

【化１】



Ia　　または　　Ib

（式中、Ｒ[1]、Ｒ[2]、およびＲ[3]は、独立に、水素、ヒドロキシル、アルキル、アルケニル、アルキニル、アルキレン、アルケニレン、アルコキシ、アルケニルオキシ、シクロアルキル、シクロアルケニル、アリール、アリールオキシ、アリールアルコキシ、アロイル、ヘテロアリール、ヘテロ環、アシル、アシルオキシ、スルホニル、スルフィニル、スルフェニル、アミノ、イミノ、アジド、チオール、チオアルキル、チオアルコキシ、チオアリール、ニトロ、ウレイド、シアノ、ハロ、シリル、シリルオキシ、シリルアルキル、シリルチオ、＝Ｏ、＝Ｓ、カルボキシル、カルボニル、カルバモイル、またはカルボキサミドであり；Ｒ[7]は、水素、ヒドロキシル、アルキル、アルケニル、アルキニル、アルキレン、アルケニレン、アルコキシ、アルケニルオキシ、シクロアルキル、シクロアルケニル、アリール、アリールオキシ、アリールアルコキシ、アロイル、ヘテロアリール、ヘテロ環、アシル、アシルオキシ、スルホニル、スルフィニル、スルフェニル、アミノ、イミノ、アジド、チオール、チオアルキル、チオアルコキシ、チオアリール、ニトロ、ウレイド、シアノ、ハロ、シリル、シリルオキシ、シリルアルキル、シリルチオ、＝Ｏ、＝Ｓ、カルボキシル、カルボニル、カルバモイル、またはカルボキサミドであり、またはＲ[7]は存在しなくてもよく、１位のＮと６位のＣとの間に二重結合が存在し；Ｒ[4]、Ｒ[5]、およびＲ[6]は、独立に、水素、アルキル、アルコキシ、ハロ、もしくはニトロであり；またはＲ[1]とＲ[2]、Ｒ[1]とＲ[7]、もしくはＲ[2]とＲ[3]は、ヘテロアリールまたはヘテロ環を形成してもよい）。

【請求項２】

Ｒ[3]、Ｒ[4]、Ｒ[5]およびＲ[6]が水素である、請求項１に記載の単離されて実質的に純粋な式Ｉｂの化合物。

【請求項３】

Ｒ[1]が１～４個の窒素原子を含む飽和３～６員ヘテロ単環基である、請求項２に記載の単離されて実質的に純粋な式Ｉｂの化合物。

【請求項４】

Ｒ[1]がピペラジニル、置換ピペラジニル、アミノまたは置換アミノである、請求項３に記載の単離されて実質的に純粋な式Ｉｂの化合物。

【請求項５】

Ｒ[1]がピリミジニルまたはピリジニルで置換されたピペラジニルである、請求項４に記載の単離されて実質的に純粋な式Ｉｂの化合物。

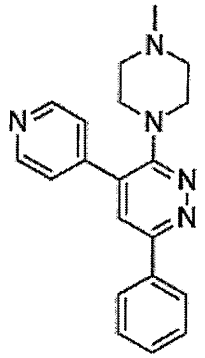
【請求項６】

Ｒ[1]がＣ[1]～Ｃ[6]低級アルキルで置換されたピペラジニルである、請求項４に記載の単離されて実質的に純粋な式Ｉｂの化合物。

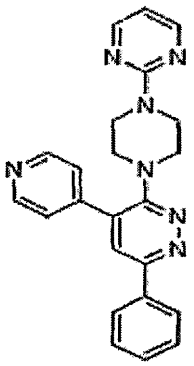
【請求項７】

Ｒ[1]が－ＮＲ[21]Ｒ[22]であり、Ｒ[21]またはＲ[22]が水素、ヒドロキシル、アルキル、シクロアルキル、アルコキシ、アルケニル、アルキニル、アリール、カルボニル、カルボキシル、アミノ、シリル、ヘテロアリール、または置換されてもよいヘテロ環基の任意の組み合わせである、請求項４に記載の単離されて実質的に純粋な式Ｉｂの化合物。

【請求項８】
Ｒ^{21}が水素であり、Ｒ^{22}がシクロアルキルまたは置換シクロアルキルである、請求項７に記載の単離されて実質的に純粋な式Ｉｂの化合物。
【請求項９】
Ｒ^{2}が１～４個の窒素原子を含む不飽和５～６員ヘテロ単環基である、請求項１～８のいずれかに記載の単離されて実質的に純粋な式Ｉｂの化合物。
【請求項１０】
Ｒ^{2}がピリジニルである、請求項９に記載の単離されて実質的に純粋な式Ｉｂの化合物。
【請求項１１】
以下の構造を有する、単離されて実質的に純粋な式Ｉｂの化合物。
【化２】

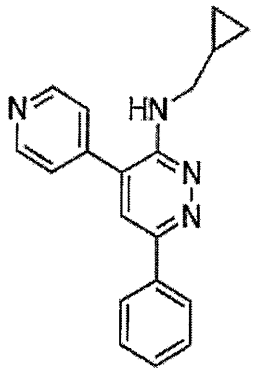


【請求項１２】
以下の構造を有する、単離されて実質的に純粋な式Ｉｂの化合物。
【化３】



【請求項１３】
以下の構造を有する、単離されて実質的に純粋な式Ｉｂの化合物。

【化４】



【請求項１４】
炎症、炎症に含まれるシグナル伝達経路、細胞シグナル伝達分子産生、グリアの活性化またはグリア活性化経路および応答、炎症誘発性サイトカインまたはケモカイン、酸化ストレス関連応答、急性期タンパク質、補体カスケードの成分、タンパク質キナーゼ活性、細胞損傷、および細胞死シグナル伝達経路の１つまたは複数の調節を必要とする疾患の治療に使用される、請求項１～１３のいずれかに記載の化合物。
【請求項１５】
請求項１～１３のいずれかに記載の化合物、および薬剤として許容される担体、賦形剤、またはビヒクルを含む、薬剤組成物。
【請求項１６】
疾患を予防および／または治療するための、請求項１～１３のいずれかに記載の化合物、容器、および使用説明書を含む、キット。